



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月13日

上場会社名 株式会社東名 上場取引所 東名
 コード番号 4439 URL <https://www.toumei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 文彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 関山 誠 TEL 059 (330) 2151
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	3,014	7.3	207	14.0	217	△2.3	137	△1.2
2020年8月期第1四半期	2,809	5.8	181	△6.9	222	6.1	139	△24.6

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 142百万円 (△0.7%) 2020年8月期第1四半期 143百万円 (△22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	18.81	18.33
2020年8月期第1四半期	19.40	18.92

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	7,704	4,740	61.5
2020年8月期	7,647	4,669	61.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 4,740百万円 2020年8月期 4,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,905	4.2	438	3.5	473	△3.9	288	△12.5	39.41
通期	12,020	4.4	909	8.8	979	6.1	608	△0.6	83.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	7,334,100株	2020年8月期	7,327,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	300株	2020年8月期	300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	7,332,785株	2020年8月期1Q	7,199,794株

（注）当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、政府による経済対策の効果もあり一部に持ち直しの動きがみられます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たないこともあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主にサービスを提供する中小企業におきましては、中小企業庁発表の「第162回中小企業景況調査」(2020年10月～12月)によると、中小企業の業況判断D Iは2期連続で上昇し、改善の動きがみられつつあります。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、「やりきるサービス、つづけるサービス」を今期のグループスローガンに掲げ、当社グループのサービスを永続的に利用していただくために、どのように行動すればよいかを全従業員一人ひとりが考え、創意工夫し、行動し続けることに取り組み、「顧客(ステークホルダー)満足のため全力を注ぐこと」を目指しております。当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの強みである、トラブル解決ノウハウの活用と、定期的なリテンション活動により、既存顧客との関係強化に努めました。特に、社内連携を強め、オフィス光119事業の既存顧客の課題解決や利便性向上のため、オフィスソリューション事業の取扱商材であるセキュリティ商材、サーバー、PC等のクロスセルに取り組みました。また、前期に引き続き、起業や開業を予定している見込顧客をターゲットにWebによる集客を行い、光回線のみならずビジネスに必要な電力サービス、ビジネスホン、セキュリティ商材等のセット提案を行い、新規顧客の獲得に努めました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績への大きな影響はみられておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,014,557千円(前年同四半期比7.3%増)、営業利益207,242千円(同14.0%増)、経常利益217,195千円(同2.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益137,916千円(同1.2%減)となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期比で減少しているのは、前第1四半期連結累計期間に投資有価証券売却益を計上した反動によるものであります。

セグメント毎の概況は、次のとおりであります。

(オフィス光119事業)

顧客との継続的な取引を基盤とするストック収益事業であることから、リテンション活動が重要であるため、引き続き「オフィス光119」の契約後、初期フォローから定期フォローへと段階的に接触を重ね、既存顧客との関係強化に努め、解約率の引き下げに貢献いたしました。一方、新規顧客については、スタートアップ企業をターゲットにWeb集客を行い、加えて代理店による顧客の取次も安定的に増加し「オフィス光119」の契約保有回線数は好調に推移いたしました。

この結果、オフィス光119事業の売上高は2,473,796千円(前年同四半期比5.3%増)となり、セグメント利益は267,462千円(同3.5%増)となりました。

(オフィスソリューション事業)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響はほぼみられず、引き続き中小企業・個人事業主に対しオフィス環境改善のための提案を行い、既存顧客との関係性強化に努めました。さらに、保有データベースを精緻に分析し、電力取次販売(代理店)を主軸に、ストックビジネスである自社ブランドの電力小売販売の提案にも努め、電力小売事業者への取次件数及び自社ブランドの獲得件数は順調に推移いたしました。また、社内連携強化に努めた結果、既存顧客からの回線に関するトラブルや疑問等に対応し解決した案件では、原因としてサポート終了したOSのままのPC使用又はセキュリティ対策不足によるものが相当数みられたため、PCやサーバーの入れ替え、UTM等のセキュリティ商材を提案したところ、顧客の課題解決が顧客満足度向上につながり、クロスセルによる増収に寄与いたしました。

この結果、オフィスソリューション事業の売上高は477,658千円(前年同四半期比21.3%増)となり、セグメント利益は66,452千円(同35.6%増)となりました。

(ファイナンシャル・プランニング事業)

2020年10月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大のいわゆる第3波の影響により来店客数は減少いたしました。感染症対策を十分に講じた上で商業施設内でのハンディン等によるPR活動を行い、施設内の他店舗へ来店した見込顧客に向けた認知度の向上及び来店客数の増加を目指します。来店客数が落ち込んでいた時期には商品知識や接客に関する研修を行い、スタッフの能力向上に努めました。

この結果、ファイナンシャル・プランニング事業の売上高は60,363千円(前年同四半期比6.0%減)となり、セグメント利益は8,857千円(同25.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は7,704,128千円(前連結会計年度末比0.7%増)となりました。これは主に現金及び預金が29,311千円減少した一方、受取手形及び売掛金が60,458千円、原材料及び貯蔵品が17,490千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,963,544千円(前連結会計年度末比0.5%減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が31,240千円増加した一方、未払法人税等が58,751千円、賞与引当金が33,912千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,740,584千円(前連結会計年度末比1.5%増)となりました。これは主に利益剰余金が64,644千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月13日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,836,419	3,807,107
受取手形及び売掛金	3,081,234	3,141,693
商品及び製品	5,620	5,911
原材料及び貯蔵品	30,864	48,355
その他	91,738	84,392
貸倒引当金	△32,684	△29,678
流動資産合計	7,013,194	7,057,782
固定資産		
有形固定資産	327,552	323,280
無形固定資産	11,161	10,581
投資その他の資産		
投資有価証券	17,586	23,832
繰延税金資産	55,198	53,311
その他	260,059	272,477
貸倒引当金	△37,136	△37,136
投資その他の資産合計	295,707	312,485
固定資産合計	634,421	646,346
資産合計	7,647,615	7,704,128
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,125,427	1,156,667
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	800,000	800,000
未払金	264,227	254,075
未払法人税等	140,439	81,688
賞与引当金	46,399	12,486
販売促進引当金	2,649	4,184
その他	145,046	200,225
流動負債合計	2,624,189	2,609,328
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
資産除去債務	48,154	48,201
その他	6,015	6,015
固定負債合計	354,169	354,216
負債合計	2,978,359	2,963,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,155	606,317
資本剰余金	595,155	596,317
利益剰余金	3,457,339	3,521,984
自己株式	△331	△331
株主資本合計	4,657,319	4,724,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,937	16,297
その他の包括利益累計額合計	11,937	16,297
純資産合計	4,669,256	4,740,584
負債純資産合計	7,647,615	7,704,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	2,809,669	3,014,557
売上原価	1,799,266	1,940,022
売上総利益	1,010,402	1,074,534
販売費及び一般管理費	828,551	867,291
営業利益	181,850	207,242
営業外収益		
受取利息	586	835
債務等決済差益	10,886	9,311
投資有価証券売却益	29,999	—
その他	1,243	1,708
営業外収益合計	42,716	11,855
営業外費用		
支払利息	2,256	1,872
その他	0	30
営業外費用合計	2,256	1,902
経常利益	222,310	217,195
税金等調整前四半期純利益	222,310	217,195
法人税等	82,656	79,278
四半期純利益	139,653	137,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,653	137,916

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	139,653	137,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,698	4,359
その他の包括利益合計	3,698	4,359
四半期包括利益	143,351	142,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,351	142,276

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オフィス光119 事業	オフィス ソリューション 事業	ファイナンシャル・プランニン グ事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	2,348,805	393,863	64,186	2,806,854	2,814	2,809,669
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	69	—	72	—	72
計	2,348,807	393,933	64,186	2,806,927	2,814	2,809,742
セグメント利益	258,389	48,995	11,926	319,310	1,895	321,206

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	319,310
「その他」の区分の利益	1,895
全社費用(注)	△139,355
四半期連結損益計算書の営業利益	181,850

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オフィス光119 事業	オフィス ソリューション 事業	ファイナンシャル・プランニン グ事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	2,473,796	477,658	60,363	3,011,818	2,738	3,014,557
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	508	—	511	—	511
計	2,473,799	478,166	60,363	3,012,330	2,738	3,015,068
セグメント利益	267,462	66,452	8,857	342,772	1,903	344,676

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	342,772
「その他」の区分の利益	1,903
全社費用(注)	△137,433
四半期連結損益計算書の営業利益	207,242

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。